

校内研修

★研究主題 つながりをお大切にしてお 楽しく学び合う

★主題設定の理由

本校は、平成 29 年度から、「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れ、授業改善に取り組んできた。その実践をもとにして、子供たちの学びのさらなる質の向上をねらい、「つかむ」「みがき合う」「主体的につなげる」をキーワードとした「つ・み・し」の授業展開を、国語科を窓口として研究してきた。これまでの研究の積み重ねにより、学習内容に興味・関心をもち、授業や話し合い活動に意欲をもって取り組むことができる児童が多くなってきた。

しかし、社会の変化とともに、様々な生育歴をもつ児童や発達支援の視点からのケアが必要な児童が増えており、学級担任だけではそのニーズに応じることが大変であり、一人一人の児童への支援が多岐にわたるといふ課題を抱えている。このような中で、教材研究を行ったり、児童の表れに関する情報を共有したりする時間が十分に確保することができていない現状も見られた。また、若手教師の中には、児童の指導・支援に不安を感じている者もあり、児童を深く理解する力と教科指導力を向上させていくことが急務となっていた。

こういった現状の中で、教科指導力を高め、児童の実態に即した、分かる楽しい授業を展開していきたいという思いを、多くの教師がもっている。それとともに、深い児童理解を基に、学年がチームとして児童一人一人の指導・支援に当たることが必要であると感じていた。

このような課題を解決していくために、令和元・2 年度「高学年における教科担任制」の研究を行ってきた。教科担任制はこれまでにない取組であったため、教師と児童との多様なつながりを模索し、教師同士のつながりを大切にしながら、協働的に指導・支援を行っていく体制を構築してきた。また、全校で取り組んでいくため、低・中学年でできそうなことを協議し、実践することを通して、全校で取り組む教科担任制に進化させてきた。

こうして培ってきた「つながり」を大切にしたい取組を本年も継続して積み重ね、「つみし」の授業を基に、授業改善を進めていくことで、さらに教師同士、教師と児童、児童同士が、授業を通して楽しく学び合う場を形成していきたいと考えた。そこで、研究主題を「つながりを大切にしてお 楽しく学び合う」とした。

★研究内容

- ① 授業展開のポイントである「つみし」をもとに、つながりを大切にしたい **授業改善**
- ② ICT 推進のための研修

★「つみし」の授業

「つ」・・・つかむ ・単元構想、課題設定の工夫 ・主体的に学習するための学習計画
「み」・・・みがき合う ・一人学び、友達と磨き合いの時間の設定 ・交流のもち方
「し」・・・主体的につなげる
・次につながる学習の振り返り ・次時への意欲付け

学校教育目標

求めて共に学び 夢をめざす子を育てる

研究主題

つながりを大切にして 楽しく学び合う

